

議会報

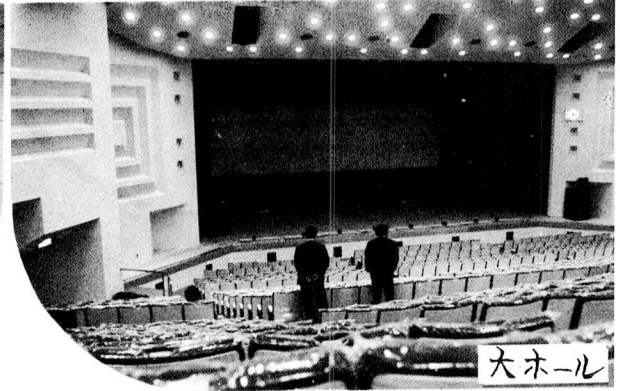
# ふっさ

No. 31

昭和52年4月20日  
 福生市議会事務局  
 ☎ 0425-51-1511(代)



小ホール



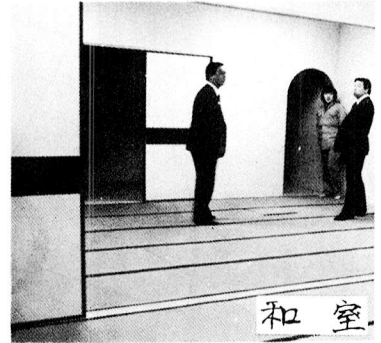
大ホール



展示室



完成した市民会館



和室



リハーサル室



調理室

## 市民会館が7月にオープン

2カ年事業でりっぱな市民会館ができました。

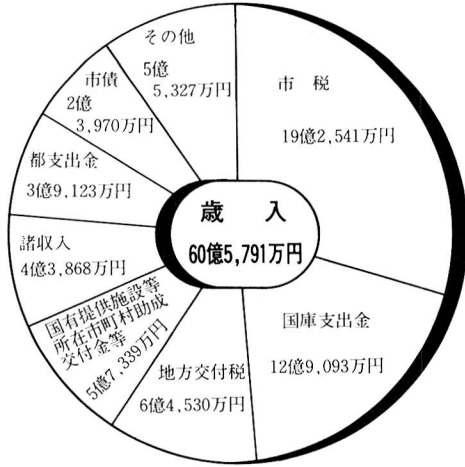
開館に先駆け盛りだくさんの記念事業も計画されています。

これから大ぜいの市民が教育・文化の向上に利用されることが待たれます。

予算議会と言われる第一回目の定例会が三月十日から二十五日まで開かれ、四月一日から翌年の三月三十一日までの昭和五十二年予算が決められました。

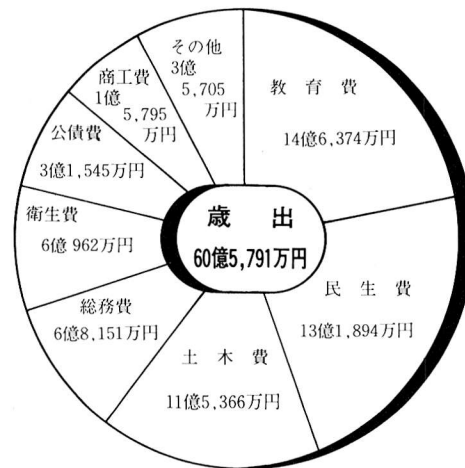
一日目の十日には、市長から昭和五十二年の市政運営方針について約三十分間にわたる発言があり、続いて四人の議員から申し出のあった一般質問を行い、一日目は終わりました。

翌日の十一日には、七月からオープン市民会館や市営プールの使用料値上げ案などの条例八件、五十一年度の一般会計を初め三特別会計の補正予算、及び四月一日から始まる五十二年度の予算五件など二十案件の審議に入り、



昭和52年度

一般会計歳入歳出款別予算表



第1回

定例会

このうち簡易な内容と思われる二条例を可決し、そのほかは委員会に付託して十分審査することにし、二日目を終わりました。

なお、五十二年の福生市一般会計予算(当初予算)は、正副議長を除いた二十二人で特別委員会をつくって審査することにしました。

最終日の本会議は二十五日に開き、十一日に各委員会に付託して審査した十六案件と、昨年九月に出されて委員会審査中であった陳情一件の結果報告が委員長からあり、又、新しく出された五十一年度の最終予算となる一般会計補正予算とをそれぞれ原案のとおり可決し、定例会を閉会いたしました。

審議日程

日	審議内容
3月10日	本会議・市長の施政方針・一般質問
11日	本会議・議案審議
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
16日	建設委員会
17日	厚生委員会
18日	総務委員会
22日	議会運営委員会
25日	本会議・委員長報告・議案審議

用語の

ミニ解説



**▽請願と陳情** 国や自治体の公権力によって、住民の権利、利益が侵されたときの救済制度として、憲法にも請願権が保障されています。

地方議会に、議員の紹介(署名)で市民から出されたものを請願書として、そのほか要望書などは陳情書として扱っています。当市ではどちらでも軽重なく受けて本会議にかけていますが、細かい検討は委員会でやり、採択が不採択は本会議で決め、必要があれば理事者側にその報告をします。議会で採択したから市長は必ず実行しなければならぬというものではありませんが、いつまでも放置すると議員側から指摘されます。なお、署名者の多少に関係なく一人でも出せます。

**▽傍聴** 本会議は一般住民に公開するのが原則となっていますので(秘密会は例外)、だれでも傍聴できます。傍聴席は六十席程度であり、入口で住所、

一般会計

# 新年度予算が決まる

▶ 総額 60億5,800万円

## 前年度に比べ五・四％の減

昭和五十二年一般会計予算は、総額六十億五千七百九十二万四千円、前年度に比べ五・四％の減額予算となつています。これは市民会館や基地排水路工事が完成したためで、今年度も衛生センターの建設、生浜グランド改修など積極的に進める内容になっていきます。

この予算を審議するにあたって委員二十二人の「昭和五十二年度福生市一般会計予算審査特別委員会」をつくり、小堀仁七委員長、指田保雄副委員長のもとで十四日と十五日の二日間にわたり審査を行いました。

二十五日の本会議では「市民要求が満たされていないので反対だ」「今年も積極予算であり賛成だ」との意見（討論）があり、起立で採決したところ、賛成者多数で市長提出のとおり決まりました。

### 特別委員会 のやりとりから

#### 歳入

問 法人市民税の伸びは見込めるのか。

答 均等割で国の法律改正により約百二十万円程度の増が見込め、所得割は（法人）会社の決算が出ないとはつきりしないが、五％程度の伸びを見て予算化をした。

問 当市の大法人（会社）は何か。

答 税務課長 法人全体では、資本金が一億円以上のうち、従業員百人以上が三社、同資本金で従業員百人以下が百二十六社、資本金一千万円以下が五百四十五社、合計六百七十四社、このうち福生市に支店や営業所のある分割法人が百二十一社となっている。

問 地方交付税の普通分の算出根拠を聞きたい。

答 企画財政課長 五十一年度の普通分は六億七千五百四十九万九千円となったが、この中には西多摩衛

生組合分として五千万円が含まれ、実質的には約六億二千五百万円となる。

五十二年度としては、試算で六億四十万円で見て、この八五％の五億九千五百万円を計上している。

問 特定防衛施設周辺整備調整交付金が五十一年度当初予算より約二千七百万円増となっているが、五十一年度の最終額ほどの程度になるか。

答 企画財政課長 これは「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の第九条で、市町村に交付されるもので、五十一年度において八千八百七十二万円、五十一年度は一億三千八百五十五万三千円が予定されている。

### 毎年減ってくる

#### 競輪事業収入

問 収益事業配分金が年々少なくなっているが理由は何か。

答 企画財政課長 福生市ほか八市で競輪事業を年七回行っており、五十年で一億八千万円の収益配分、五十一年度は一億三千万円程度となるが、毎年競輪場における人件費等の必要経費が多くなり、又、収益率も下がっているため、五十二年度では一億円を計上している。

氏名を記入すれば入れます。でも酔っぱらいや他人に危害を加えるようなものとか、会議に支障があるものを持つていると入れません。又、傍聴中は飲食やタバコを吸ったり、大声や拍手等をしてはいけないことになっています。昨年、傍聴者が会議中に大声を出し、議長が何回も静止するよう注意しましたが聞き入れなかったために、退場させられた例がありました。委員会の傍聴は委員長の許可が必要となっています。

#### 公聴会

付託された案件について、委員会が利害関係者や学識経験者など、直接住民の意見を聞いて結論を出す制度です。委員会が公聴会を開くことを決めると、議長が一般住民に日時場所、案件を公示（PR）し、意見発表者を募集します。法による公聴会のほか、参考意見を聞く方法として、聴聞会というやり方もあります。



# 歳出

## 市政モニターは

### 応募少なく断念

問 市政モニターの謝礼が計上されてない理由は何か。

助役 五十一年度に募集したところ、応募者が九名しかなく、五十二年度は予算計上を断念した。

問 交通安全保険に加入して

る市民の数と、町会を通して募集していたときに比べて加入率はどうなっているか。

市民課長 五十一年度で市民の二

八％、九千八百七十八名が加入している。現在、三月の土曜、日曜に市職員が町内に出張して受け付けをしているが、二、三年前より加入率は減っている。

問 寝たきり老人の寝具乾燥事

業は新規のものであるが、障害者で寝たきりの者にも適用できないか。

### 福祉事務所長

この事業はとりえず要綱をつくって実施したい。身障者についても十分考えたい。

問 民間の各保

育園は設立時にかなりの借財があり、民間保育所振興費補助金では利子の補てんにも満たない状態である。この振興費補助金を増額する必要があると思うかどうか。

市長 市としては、民間の積極的

にやってくださる方の好意に甘えているが、保育園の

起立多数で新年度予算を可決—予算特別委員会にて—



## 第1回定例会を

### 傍聴された方々

(敬称略)

- 佐藤 榮 祐
- 小野沢 久
- 山崎 繁三郎
- 篠崎 久 治
- 秋山 弘
- 原島 忠 芳
- 関 利 子
- 遠藤 京 子
- 石井 美代子



## 議会を傍聴 しましょう

次の定例会は  
6月に開かれます

## 風しんの予防注射

### この秋には実施

問 五十一年度に風しんが流行したが、五十二年では風しんの抗体検査実施についてどのように考えているか。

環境保全課長 風しんは後遺症の問題もあり関心を持っている。五十二年秋ごろから高学年に予

実態を把握して相談し上げた。

問 小学校給食は、材料を給食センターで一括購入し安く仕入れている。保育園でも公私立を問わず福祉事務所で行ってはどうか。

福祉事務所長 一括購入は理想的であるが、経営者が別々でありむずかしい問題である。今後園長会議で検討をしていきたい。

防接種をする予定であり、予算は厚生省で決まったら補正したい。

問 じん芥収集も限界にきているようである。仙台では市民の協力でごみ量が四六％も減り、予算が節減されたこともある。当市としてのごみ問題解決の考えを伺いたい。

市長 市民の協力があればごみ節約はできると思うがPRはむずかしい。ごみがふえたのは無料化後であり、最悪の場合有料化も考えられるが、あくまで無料で行けるよう卓抜な意見があれば伺いたい。又、四月からの新町会長には重点的にごみ問題に取り組んでもらうようお願いしたい。

問 三年前から中小企業振興資金を、預託金制度から基金制度にするよう訴えているが、どのように考えているのか。

経済課長 基金制度では高額の

## 討論



反対

本予算は長期にわたる不況、インフレのもとで、市民が強く望む福祉対策を後回しとし、市民に高負担のみを押しつける予算編成を行っている。

民生費では一般財源充当分が年々減り、その結果として新規施策は老人寝具乾燥事業委託だけである。一方、国民健康保険会計へは十分な繰り入れを行わないため、さらに値上げが予測され、プールの料金においては三・五倍の値上げをするなど、市民生活を守ることなく負担を増大させている。

又、基地に対しては多額の涉外関係借費を計上したり、米軍の軽自動車税の不公平是正をせず、かつ二十六市当中市のみが道路占用料を徴収せず一部企業に奉仕している。

財政運用面では、地方財政危機に名を借りて多くの市民要求をカットし、五十一年度予算を多額に残して基金に積み立て、五十二年度予算に十分編成に入れていない。さらに、予算編成においては、十分な市当局の意思統一がされていないため幾つか問題が出ている。このようなことを指摘して本予算に反対するものである。

都下26市の昭和52年度一般会計予算状況

市名	一般会計額	人口1人当たりの歳出額	人口1人当たりの市税額
八王子	4,821,000万円	143,653円	58,701円
立川	2,125,241	151,445	60,228
武蔵野	1,628,170	120,557	85,743
三鷹	1,834,141	113,541	63,298
青梅	1,226,300	137,146	47,077
府中	1,934,348	106,246	56,574
昭島	1,001,030	116,987	49,429
調府	1,950,081	116,639	57,761
町田	2,679,127	100,966	49,808
小金井	1,034,050	103,937	55,882
小平	1,559,050	101,973	53,732
日野	1,645,988	123,797	60,358
東村山	1,367,550	119,552	46,319
国分寺	873,214	100,243	54,366
国立	702,995	110,165	53,025
田無	826,803	125,108	63,380
保谷	936,592	103,238	52,614
福生	605,791	126,246	40,125
狛江	743,903	107,895	48,354
東大和	610,191	100,760	42,829
清瀬	748,061	122,499	38,436
東久留米	1,233,921	119,264	48,218
武蔵村山	776,052	145,579	61,229
多摩	929,322	121,122	47,333
稲城	586,843	132,020	44,255
秋川	436,883	108,459	34,032

(52. 3. 1 現在の人口で算出)

金を基金に直ちに積み立てるのは困難であり、又、運用が窮屈であるため、運用しやすい預託金制度をとっている。

**問** 市営住宅取壊費用六十三万円は、残る家屋を取り壊して建替建設計画に入るためのものか。

**助役** 五十二年で解決しない場合は訴訟にもっていくよりないが、反対同盟も解決に熱意を持っているので、市側も努力する。

今年度防犯灯を

三十基増設する

**問** 東口の上方は、基地の關係

で夏場に向かって環境が悪くなるので、空地に防犯灯を設置するか、公園の形で借り上げて整備する考えはないか。

**都市計画課長** 空地については現地在公園に適するかどうか調査をしたい。防犯灯は警察や町会長の意見を聞き、五十二年度二十基と、東電から毎年寄付される蛍光灯十基をもって必要個所に設置していく。

**問** 青梅線以東の消防署設置の考えを伺いたい。

**環境保全課長** 福生・羽村・瑞穂の三市町で出張所設置につき、消防力強化とあわせ都に運動していきたい。

**問** 学校の先生に対する指導方法について聞きたい。

**教委学務課長** 市は直接指導することはできない。管理者である学校長が指導することになっている。

**問** 育英会への補助金の対象人員はどのくらいか。

**教委庶務課長** 高校入学の対象者は約三十三人を予定している。

中学校給食の実施

研究会で検討

**問** 中学校給食の請願が議会で採択されたが、その後どうなった

か。

**教委庶務課長** 中学校の校長とも話し合いをしているが、給食問題の原点から考えるため、教育委員、PTA会長、中学校長等による研究会を早く発足させて検討したい。

**問** PTAから学校施設の修理について要望されていたが、どのように予算化されたのか。

**教委庶務課長** 修繕費は小学校が八百五十六万四千円、中学校が百五十八万二千円となっているが、危険な場所を優先的に、今後予算化して要望にこたえていきたい。又、維持管理面から国へも補助金を要求していきたい。



**賛成** 本予算は前年度に比べて五・四％の減であるが、これは市民会館又基地排水等の完成見込みによるもので、人口比では依然として大型、積極型予算となっている。

当市は自主財源に乏しく、市民福祉の向上あるいは文教施設をよりよくするために、国庫補助に依存することは市民の理解をいただけることである。又、全面積の三分の一を横田基地に提供していることから、横田基地とは不離一体であると考えられる。

昭和四十九年には基地周辺の市民対策として「基地周辺の環境整備に関する法律」が石川市長の長年にわたる努力の結果制定され、今日の補助金増額の実績をみた次第である。衛生センターや教育施設等、この精神があればこそ、他市が羨望するほど充実した施設ができたわけである。

人件費の伸びに対しては、今後とも事務の簡素化や人事の適正配置を行い、又、ごみ公害やごみ問題を講じ、市民のとうやかな行政措置を講じ、市民のとうや税金が有効に使われるよう要望をし、本予算に賛成するものである。



# 一般質問



## 工事完成が遅れたら

### 地元にも連絡

**質問** 市道に電話などのケーブル工事をやっているが、復旧工事も粗雑である。市道の管理者として、市はどういう条件で許可をしているのか。

**建設課長** 市の規制で、工事の目的、期間、復旧検査などの条件をつけて許可している。五十一年度では約二百八十件を許可し、多いのは家庭の水道管理設工事や、歩道の切り下げ工事となっている。住民の苦情もあるので、工事関係者とも十分連絡をとって管理していきたい。

**質問** 現在市内の各地でいろいろ工事が行われているが、工事中の件数と工期の関係はどうか。

**下水道課長** 下水道工事は十月から二十六件の工事に着手、完成をしたのが十三件である。工事中

の栄通りは、奥多摩街道と牛浜橋のかけかえ工事とが重なり、交通上から警察の許可が出なかったために遅れている。そのほか二件は復旧舗装だけが、電電公社のケーブル、水道管移設工事の場所が集中し調整が遅れたものもある。

**建設課長** 十三件の工事を発注しすべて年度内に完成する。水道事務所長 水道事業としての工事はないが、下水道や区画整理などの工事と関連して、予定の九〇％は完成し、残りも年度内にはできると思う。



完成をめざす道路舗装工事

**教委庶務課長** 教育関係は八月で、年度内完成が困難と思われる市庁舎前の学習等供用施設は、用地の権利更新で時間がかかり、着工が遅れた。市民会館の本体工事は年度内に完成するが、外側の工事は七月の開館までには終わらない。

**都市計画課長** 加美平野球場の整備、国鉄に委託している福生駅自由通路工事は、年度内に完成する。

**助役** 工事期間が遅れるような場合は、地元やPTA等にあらかじめ連絡するようにしたい。

## 過去の玉虫色の答弁

いまはどうなっている

**質問** 過去の本会議における質問等に対して、理事者から「善処する」「検討する」などの答弁がされているが、次の点についてその後どうなっているか聞きたい。



④ 青少年補導センターの出張所について  
教委社会教育課長 警視庁の協力

力で少年相談所の出張所を五十年十二月に開設し、第二、第四金曜日

日に市の相談室で行い、開設以来約三百四十件を扱った。

② 多摩川をきれいにする運動と多摩橋下流の河川敷不法占拠について  
市長 多摩川はほとんど秋川市の行政区域であるが、民間団体等で自主的にきれいにする運動を起すことは、モラルとしてりつぱであり、町会長会議等に相談してみたい。

福祉事務所長 異動する前に担当したが、多摩川の管理者である国の多摩川上流事務所、都の西多摩建設事務所行政区である秋川市、福生市の四者で河川敷を占拠している人の移転や職業等について協議した。その後建設省において三カ年計画で新堤防建設の計画があり、国で解決することになった。市としても側面から協力したいと思う。

③ 身障者雇用促進法による職員採用について  
秘書職員課長 身障者の採用につき努力義務が法律にうたわれているが、職員の中で三人程度いる。五十二年度の応募者には身障者がいなかったが、応募があった場合は採用に努力したい。

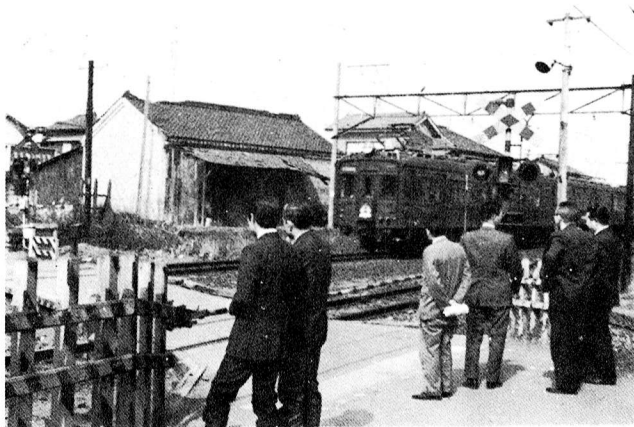
### 外かく団体への補助

#### 専門委員で洗い直し

質問 ④ 負担金や補助金の洗い直し委員会の設置について

助役 まだ委員会をつくらず申しわけない。やっと構想もでき、七人以内の専門委員制度をつくることになったが、委員はある程度市政全般の知識を持った人がよいと思う。

⑤ 青少年問題協議会への補助金交付の時期について  
教委社会教育課長 町会単位でやっている地区活動への補助は、均等割、人頭割で一地区平均三万七千円を一括して協議会に出しているが、各地区の事業計画案の提出が遅いため補助金も遅れる。五



切踏町本の出ている問題

十二年度からは、活動が盛んになる夏休み前までには出せるようにしたい。



### 施設が充実してから

#### 健康都市宣言のPR

質問 ⑥ 健康都市宣言の啓蒙について  
福祉事務所長 健康都市として恥ずかしくない予防衛生センター等を建設し、名実ともに充実した健康都市宣言の看板を掲げたいと思っている。その点不実行で申しわけないと思う。

⑦ 庁舎増築基金への繰り入れについて  
企画財政課長 現在の基金額は約二千八百五十万円

⑧ 基地騒音の線引きに対する国の再調査について  
企画財政課長 線引きをした当時、第三四五戦術空輸部隊の移駐によって、防衛施設庁に再調査するよう要望したが、五十一年度で全国二十五基地中、十六基地の一回目の調査が終わった段階であるので、横田基地の再調査は全部終わった後に行うため、今年度は無理のようである。今後運動は続けていきたい。

### 従業員の退職共済

#### 商工会で準備始める

質問 市役所向かいに学習等供用施設と併設し、商工業研修所(商工会用)ができることは喜ばしいことである。いまの繁栄は中小企業者の努力もあったと思う。今後の中小企業振興をはかる上で、従業員への定着のためにも、退職金制度への援助や独自制度を新設したらどうか。

市長 現在は東京都商工会連合会の特定退職金共済制度がある。市の商工会でも独自の制度をつく

るかどうか検討中であり、いずれ相談があれば研究していきたい。補助は一般市民とのバランスもあり、市が直接補助するのはむずかしいので、商工会から援助する形になると思う。

経済課長 市内の従業員中五・五〇程度が現在の制度に加入しているが、手続が複雑で給付率も低いため、商工会では別の制度をつくり、加入対象者を広げ、年金も受けられるようにしたいというところで検討しているので、市もこれに協力していきたい。

### 機構改革は部制のとき

#### とりあえず課長補佐

質問 現在下水道工事を中心に多くの建設事業が進められているために、内部の事務が遅れている。事務能率をはかるための機構改革をする考えがあるか。

市長 いまの組織条例でいくと課長補佐がいらない。将来部制をとるときに、いまの制度を改革したいと思う。事務も複雑となり、外部折衝で課長がいなくてもいいので六月ごろにいまの組織をいかし、課長補佐をおきたい。



移転予定の五小の学童保育所

### 中学校の業者テスト

#### これからは減らす

質問 最近中学校の業者テスト問題が大きく取り上げられ、その偏差値を高校への進学指導に利用しているが、当市の業者テストの実態はどうか。

教育長 東京都の調査でも、五十一年度に業者テストをしなかった中学校は二校だけという状況であり、高校入試の改善がされない限り廃止は困難のようである。当市の三中学校でも、五十一年度中に二校で五回、一校で一回実施さ

れ、うち授業中が二校ある。校長会で検討したが、仮に当市で業者テストをやめた場合に、他市町村との比較で不利になることが予想される。国や都の自粛通達に沿って、テストの回数を減らし授業中はしないなどの確認をしている。

### 五小の学童保育所

#### 四月から「わかたけ」で

質問 現在学童保育を五カ所でやっているが、各小学校区ごとに増設する考えがあるか。又、七小は五小に入っているが、熊川地区にできた学習等共用施設の「わかたけ会館」に移転すると、七小の子供は遠くなって通いきれないと思うがどうか。

市長 各小学校単位にあるのが理想的だと思うが、財政上の問題もあり、又、七小は希望者が三人しかいないこともある。今後増設について努力はするが、狭い市内に、しかも七校で五カ所あるのは誇りでもある。

福祉事務所長 四月から五小の学童保育所を「わかたけ会館」に移転するが、七小学区に希望者が多くなれば考えていきたい。

### 米兵の殺傷事件

#### 取締まり強化を要請

質問 基地があるための米兵による殺傷事件が今年発生し、市民の不安をつのらせたが、市としてどのように対処したのか。

市長 たび重なる殺傷事件は遺憾であり市民に申しわけないと思

## 議会日誌

1 月	2 月
13日 東京都市収益事業組合議 会	29日 議会運営委員会
14日 新市九市議長会	28日 福生市都市計画審議会
16日 全国議長会基地協議会実 行運動	26日 仮称市民会館及び公民館 建設特別委員会
17日 全国議長会基地協議会実 行運動	25日 総務委員会 大村市議会議
13日 議会報編集会議	25日 三多摩上下水(第二委員 会)、福生市国民健康保 険運営協議会
21日 三多摩上下水(第二委員 会)	21日 三多摩上下水(第三委員 会)、加茂市議会議
13日 第一回臨時会	16日 全国議長会評議員会
4日 全員協議会	16日 東京都議会議議員研修会
5日 藤井寺市議会議	22日 東京都議長会理事會
8日 防衛庁陳情	23日 八高線電車化促進期成同 盟会陳情、三多摩上下水
9日 三多摩上下水(第三委員 会)、加茂市議会議	
12日 本渡市議会議	
14日 全国議長会基地協議会総 会	



市営プール

## 9年ぶりに料金改正

大人150円・小人70円

昭和43年の夏から多くの市民に利用され、料金も据え置かれてきた市営プールの使用料を、諸物価の高とうから値上げしようとする条例改正案が委員会で審査され、「値上げは反対だ」、「現在の経済情勢から賛成だ」との意見があり、賛成多数で改正案が可決されました。

なお、議員から、小人（小・中学生）への無料券をふやすことについて強い意見があり、市では1人2枚を5枚程度にふやす予定です。

《料金改正表》

	旧料金		新料金	
	基本料 2時間	超過料 1時間	基本料 2時間	超過料 1時間
大人	40円	20円	150円	50円
小人	20円	10円	70円	20円



っている。帰国途中の米兵が基地外で起こした事件であり、司令官に嚴重な取締まりを要請した。又、市が直接手を出せないで、警察にお願いし、基地側でも現在取締まりを強化している。

### 弱者救済は物より

### 精神的援助が大切

**質問** 五十二年度政府予算は、福祉切り下げ予算となっており、社会的弱者である生活保護や母子の家庭に対する援助は、市としても重点的に取り組むべきだと思う

がどうか。

**市長** 生活保護家庭に市が援助すると収入と見られ、国からの援助が減らされてしまい、むしろかしい。市としては国の基準である級の引き上げ運動が大切と思う。母子家庭に対し、物質的な援助を引き続きやるが、精神的援助も大切であり、努力もしていきたい。

**福祉事務所長** 市で保護家庭に援助する場合は、国や都と協議することになっており、現在歳末手当等は出せるが、そのほかは収入と見られる。級地は西多摩地区は二級地となっており、生活水準が

低く見られているので、関係市町村と級の引き上げ運動を続けている。

母子家庭については、精神面から心配ごとの相談とか、都からも母子相談員が来ており、市も側面から協力していきたい。

**質問** 市民生活は不況とインフレでますます苦しく、特に保険証がきかない出産費は、約十五万円もかかると言われている。市においてその貸付制度をつくったらどうか。

**福祉事務所長** 五十年前から社会福祉協議会に最高五万円の生活資金貸付制度があるが、出産に対

する利用者はない。真に困った場合は、生活保護法や児童福祉法による助成制度もあり、五十一年度で五件の相談を受けたが、これらの制度を利用すれば援助できると思う。

3

1日 東京都市収益事業組合議

3日 綾瀬町議来議

4日 議会運営委員会

5日 青梅・羽村・福生地区都

8日 狭山火葬場組合議会

10日 第一回定例会（第一日

11日 第一回定例会（第二日

14日 昭和五十二年度福生市一

15日 昭会計予算審査特別委員

16日 建設委員会

17日 厚生委員会

18日 総務委員会

22日 議会運営委員会

25日 第一回定例会（第三日

28日 仮称市民会館及び公民館

29日 福生伝染病院組合議会

30日 西多摩農業共済事務組合

31日 西多摩衛生組合議会

(第二委員会)

24日 東京都議長会定例会

25日 福生市国民健康保険運営

28日 三多摩上下水理事會總會

# 第1回臨時会

2月4日

## 一般会計補正予算 が成立

・・昭和51年度・・

今年になって初めての臨時会が開かれました。

この会議には、7回目の51年度一般会計の補正予算1件が市長から出され、原案のとおり決まりました。

内容は、国からの交付金1,030万円が決まり、このお金で市民会館の外側を整備しようとするものと、福祉会館西側の公園部分も、市のお金約1,520万円を使って整備しようとするもので、予算の総額は72億8,385万1千円となりました。

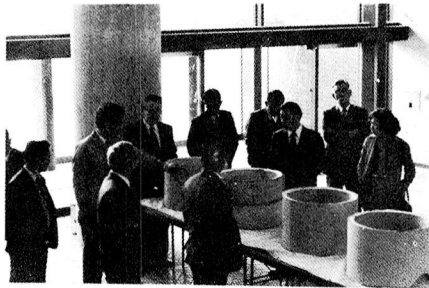


みごとに咲きました。

長い酷寒の冬を耐え、ことしも柳山公園から下流の堤防にかけて、みごとな桜の花が咲き、市民の目を楽しませてくれました。

昭和43年の春に、当時の議員がお金を出し合い、明治100年の記念と緑化の推進に、250本の桜の苗を植え、いまではりっぱに成長し、市内の名所にもなっています。

なお、当時の苗木は1本200円でした。



一写真は、委員会の現場視察一

### 市民会館公民館の建設 特別委員会を取り組む

市民会館はいま音響効果などの調整をしています。この建設にあたり議会側では将来に悔いを残さない施設とするため、委員十人の「仮称市民会館及び公民館建設特別委員会」をつくり、他市の市民会館十二カ所を見て参考にしたり、設計上の問題点について検討するなど、いまままでに委員会を十六回開き活発な活動を続けてきています。

議会へのお問い合わせは

☎五一一一五一一 議会事務局



### ▽ 継 続

▽請願第四号 自主課税による税負担の不公平是正と税制改革による減税に関する請願書  
立川市曙町二一五

石野昇氏

一昭五・九・22提出

▽請願第一号 障害者(児)の施設設置に関する請願書

志茂二〇二

佐藤絹江氏

他九〇一人

一昭五・三・11提出

▽陳情第一号 青梅線本町踏切り閉鎖に関する陳情書

福生一〇六三

原島忠芳氏

他三四人

一昭五・三・11提出

### ▽ 一部採択・一部不採択

▽陳情第二号 (仮称)市民会館および公民館の使用料に関する陳情書

福生三三五六

桜井陽子氏

他一二五九人

一昭五・九・19提出